

# 成田空港、カメ捕獲

## 周辺の池で滑走路侵入防止

成田国際空港会社は9

で続ける方針。

日、空港周辺の池に生息するカメが滑走路に侵入することを防ぐために4月20日から行っているカメの防除作業を公開した。週1回程度の防除作業を10月下旬ま

で続ける方針。カメが滑走路に上がると飛行機の定期運航に影響を及ぼしたり、航空機のエンジンに巻き込まれ事故を引き起こしたりする可能性がある。平成25年度以降に力

メが滑走路に侵入したケースは11件。今年は2件、滑走路近くの誘導路で確認されたが、運航への影響はなかった。

9日の捕獲作業では、カメ用に改良して仕掛けておいたカニゴ4つからそれぞれ1匹ずつ20秒前後のミシシピアカミミカメが捕獲された。専門家からの指摘では池には数百匹のカメがいるとされている。

カメの滑走路への侵入防止のため、罠を仕掛けて捕獲作業を行う＝9日、成田市（前島沙紀撮影）



手捕りなどの方法も含め、今回の防除作業で9日午後までに捕獲されたカメは計144匹。NPO法人「生態工房」の片岡友美理事長(49)は、「予想通りの取れ高。ペースは良い」と話した。捕獲後のカメは、環境省の防除マニュアルに則り、2日間冷凍保存した後、殺処理されるという。